



地域づくりグループ連携広域学習事業

～実践的手法から学ぼう～

これからの地域づくりの**潮流・課題**そして**解決(しくみづくり)法**

【講座No. 2:山形会場】

・・・地域づくりの「**基本手法**」・
「**IT領域の役割**」・・・

財団法人 山形県生涯学習文化財団
地域づくり協働WS(ワークショップ)実行委員会



地域づくりの「**基本手法**」

- これからの地域づくり《**成功の鍵**》
コミュニケーションギャップの克服
トッパウン&ホトムアップの限界克服



★ **活動の3本柱**

1. ハード(インフラ・設備・システム)
2. ソフト(ハードの運用・活用のプロセジャー&仕組み)
3. 人材(利用者:住民&運用者:企業・行政など)

地域づくりの「基本手法」

★合意形成の確保

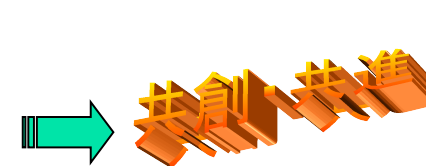
★**アカウンタビリティ(プロセスのオープン化)**の確立

協働ワークショップ



■協働ワークショップのメリット

- (1) 事業の目標の確認及び明確化
- (2) 目標達成のための手段の見落としの低減
- (3) 団体、関係者と支援者の【合意形成】の生成
- (4) 重点課題の定量的抽出
- (5) 重点課題の担当化と実施計画書の作成
- (6) 業務の【**アカウンタビリティ(説明責任、透明性)**】に寄与

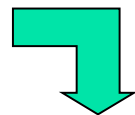




地域づくりの「**基本手法**」

- 行政との連携手法の**新しい潮流**

目的達成感の共有



＜アウト・ソーシング＞から＜コ・ソーシング＞へ

アウト・ソーシング：業務の外部委託（企業では費用削減が主眼）

コ・ソーシング：協働作業を通じて外部（受託側）にある技術・知識などを内部（委託側）に取り込むメリットと目的達成感の共有が図れる



地域づくりにおける「IT領域の役割」

- インターネットでつながろう！ ネット活用の可能性・方法